

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

令和3年8月1日の推計人口 1,296,841人  
世帯数 560,452世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

### 1 推計人口

令和3年8月1日現在の推計人口は、1,296,841人で、前月(1,297,777)に比べ936人の減少となった。

市部では、大村市(38)の1市で増加し、長崎市(△297)、佐世保市(△177)、南島原市(△103)、対馬市(△57)、諫早市(△54)、島原市(△48)、松浦市(△38)、五島市(△32)、西海市(△31)、平戸市(△29)、壱岐市(△26)、雲仙市(△22)の12市で減少した。

郡部では、長与町(8)、佐々町(8)、東彼杵町(1)の3町で増加し、新上五島町(△28)、波佐見町(△23)、川棚町(△13)、時津町(△7)、小値賀町(△6)の5町で減少した。

自然動態は、出生数762人、死亡数1,392人で630人の減少、社会動態は、転入者数2,757人(県内転入を含む)、転出者3,063人(県内転出を含む)で、306人の減少となった。

### 2 世帯数

令和3年8月1日現在の世帯数は、560,452世帯で前月(560,693)に比べ241世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…6月

1人当たり現金給与総額 454,345円  
対前月比 70.9%増加  
対前年同月比 2.1%減少

### 1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は454,345円で、前月に比べ70.9%増加し、前年同月に比べ2.1%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は256,214円で、前月に比べ1.2%増加し、前年同月に比べ0.7%減少した。

特別給与額は198,131円で、前年同月に比べ、7,803円減少した。

### 2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は153.1時間で、前月に比べ7.7%増加し、前年同月に比べ1.3%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は142.4時間で前月に比べ8.1%増加し、前年同月に比べ0.8%増加した。

所定外労働時間数は10.7時間で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ5.9%増加した。

### 3 雇用

6月の常用労働者数は211,523人で、前月に比べ増減率は0.0%であり、前年同月に比べ1.2%増加した。

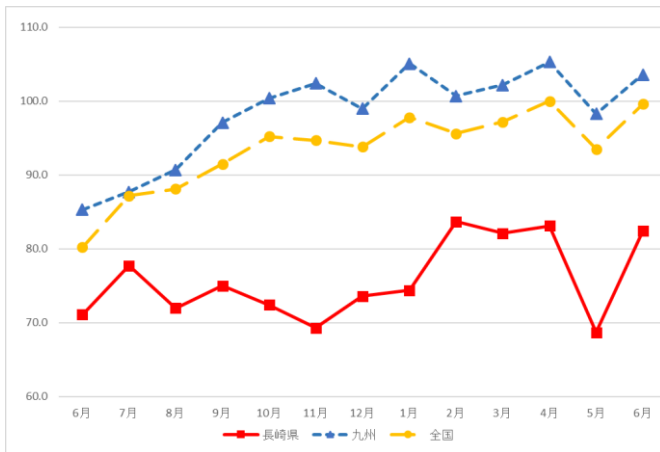
【鉱工業生産指数】……………6月

令和3年6月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数	前月比	原指数	前年同月比
		(%)		(%)
長崎県	82.4	19.9	78.6	8.9
九州	103.6	5.6	102.7	16.6
全国	99.6	6.5	101.7	23.0

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2021年6月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が82.4で対前月比は19.9%の増、原指数は78.6で対前年同月比は8.9%の増となった。

業種別にみると、輸送機械工業、電気機械工業、はん用・生産用機械工業など10業種が上昇し、食料品工業など3業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	41.4	修繕船
電気機械工業	37.6	交流電動機
はん用・生産用機械工業	34.1	蒸気タービンの部品・付属品

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
食料品工業	△2.7	その他の調味料

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………7月

総合指数(R2=100)	99.4
対前月比 (%)	△0.1
対前年同月比 (%)	△0.6

令和3年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、令和2年を100として、99.4である。

前月比△0.1%の下落で、主な上昇要因は「教養娯楽」の+1.1%、「交通・通信」の+0.4%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の△0.1%、「保健医療」の△0.2%である。

前年同月比は、令和3年3月は△0.3%、4月は△1.0%、5月は△0.8%、6月は△0.4%と推移した後、7月は△0.6%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は99.4で前月比と同水準であり、前年同月比は△0.6%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

教養娯楽	1.1 %
交通・通信	0.4 %
光熱・水道	0.2 %
住居	0.1 %

▽同水準の費目

教育	±0.0 %
----	--------

▽下落した費目

被服及び履物	△3.7 %
食料	△0.7 %
保健医療	△0.2 %
家具・家事用品	△0.1 %
諸雑費	△0.1 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………7月

消費支出(一世帯当たり)	343,132円
前月比	81,572円増(31.2%増)

令和3年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は343,132円で、前月比31.2%の増、前年同月比は45%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は78.5%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。